

日交研シリーズ A-825  
令和2年度共同研究プロジェクト  
「自動車保険プロジェクト」  
刊行：2021年12月

先進安全自動車の普及が自動車保険に及ぼす影響  
～CASE革命と保険業～  
**Impact of the Spread of Advanced Safety Vehicles on Automobile Insurance**

主査：堀田 一吉（慶應義塾大学）  
Kazuyoshi Hotta

要 旨

現在、自動車産業をめぐって、CASE革命が進展している。すなわち、C（接続：Connected）、A（自動：Autonomous）、S（共有：Shared & Services）、E（電動化：Electric）の4つの技術開発が、社会のさまざまな領域に影響を及ぼしている。

こうした技術を取り入れて、近年、先進安全自動車（ASV）の開発ならびに普及が急速にすすめられている。近年、交通事故の件数ならびに死亡者数が大幅に減少する傾向を見せているが、その要因として、ASVの普及が功を奏しているとされる。ちなみに、この状況を反映して、本年度から、自賠責保険の保険料の引き下げという形で国民への還元が行われた。

一方で、先進安全自動車の普及進展は、自動車事故の態様を大きく変えようとしており、そのことで、自動車保険の市場構造にも少なからぬ影響を与えつつある。対人事故が大幅に減少する傾向を見せる半面で、対物事故や車両事故はこのところ減少傾向にはあるものの、依然として高水準で発生し続けている。さらには、ASVの普及による車両単価の上昇により、修理費は大幅に増大しており、その影響は自動車保険の保険料にも及んでいる。

このような現状を踏まえて、本研究では、先進安全自動車の普及が自動車保険に及ぼす影響について、現状と要因分析、さらには将来課題について考察をしたい。さらに研究の継続性を意識しつつ、これまで考察をしてきたCASE革命の進展との関わりを意識しながら、そうした自動車の技術進歩が自動車保険に与える影響についても体系的な把握を試みる。

キーワード：先進安全自動車、CASE革命、自動車保険、損害補償制度

Keywords：Advanced Safety Vehicles, CASE Revolution, Automobile Insurance, Damage Compensation System